

## ロール紙ホルダー スタートガイド

本ロール紙ホルダーは、FUJITSU DL3100 ドットインパクトプリンターへ取り付けて、ロール紙を印刷するためのオプションです。

### 警告 [安全上の警告]

- ・プリンター本体の電源コードを接続した状態でロール紙ホルダーを取り付けると、火災および感電の恐れがあるため、ロール紙ホルダーを取り付ける際は電源コードを抜いてから取り付けてください。
- ・ロール紙ホルダーの組立、用紙セット、使用時は、ベース、ホルダー、レッグプレートの角、ツマミネジ側の先端、シャフト2本（ロール紙支持、パスルード確保）の先端で怪我をしないようご注意ください。また、組立時の部品落下にご確認ください。破損、怪我の原因になります。

### プリンターへの取り付け手順およびロール紙の給紙手順について

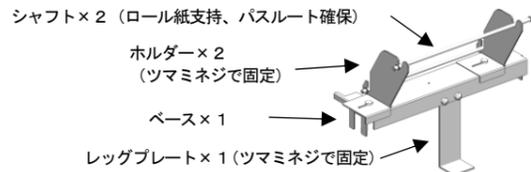
本スタートガイドに記載されている2. プリンターへの取り付け手順および3. ロール紙の給紙手順の詳細は、右記の二次元バーコードまたは下記のURLからDL3100のWEBサイトにアクセスして「Roll Paper Holder」ページ内の動画を参照してください。  
URL <https://www.fujitsu.com/jp/group/fit/en/products/dl3100/>

- 注意1) 事前に、十分な設置スペースを確保してください。ロール紙のセットと使用時の干渉などに問題のない、推奨する設置スペースについては、幅 500 × 奥行 400 × 高さ 400 [mm] となります。
- 注意2) ロール紙ホルダーの取付前に、下記手順でプリンターのテスト印字および設定を行ってください。
  - ・プリンター取扱説明書に記載されている『4 操作パネルの機能』より、テスト印字パターンを印刷し、『APW』の項目が『NO』であることを確認してください。
  - ・『APW』の項目が『YES』の場合、『5 プリンター設定の変更』に従って設定を『NO』に変更してください。
  - ・『YES』の設定で印字を行うと、左端余白が設定した値にならない場合があります。プリンターが落下し、破損、怪我の原因になるため、ロール紙ホルダーは水平で安定したテーブルの上に設置してご使用ください。

▲注意 プリンターが落下し、破損、怪我の原因になるため、ロール紙ホルダーは水平で安定したテーブルの上に設置してご使用ください。

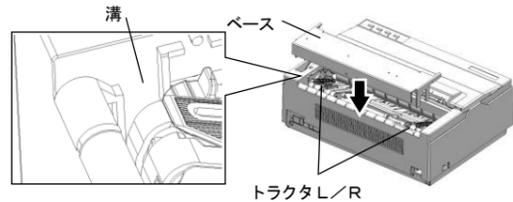
### 1. 構成部品の確認

プリンターへ取り付ける前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。

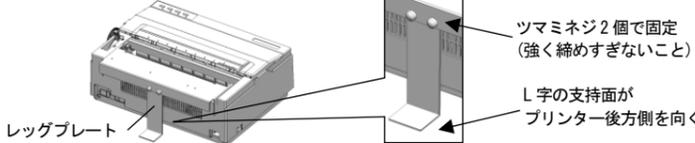


### 2. プリンターへの取り付け手順

2-1. ベースを取り付けます。トラクタL/Rをそれぞれ左右端へ移動させてから、プリンター本体の左右溝部分にベースのツメを合わせるようにして上からセットします。

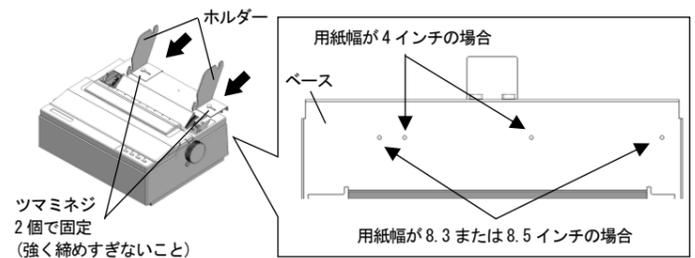


2-2. ベースにレッグプレートを取り付けます。(ツマミネジ×2個で固定します) L字の支持面がプリンター後方側を向くように取り付けます。ベースがガタつかないように、レッグプレートが設置面と平行になるように取り付けてください。



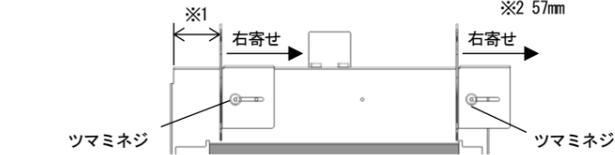
▲注意 レッグプレートを逆向きに取り付けた場合、または取り付け忘れの場合は、ロール紙ホルダーの据付が不安定で転倒する恐れがあり危険なため、レッグプレートは上図のように正しい向きで取り付けてください。

2-3. ベースにホルダー×2個を取り付けます。(ツマミネジ×2個で固定します) ホルダー後方をベースに突き当てて取り付けてください。使用するロール紙の幅に応じて、使用するネジ穴の位置が変わります。

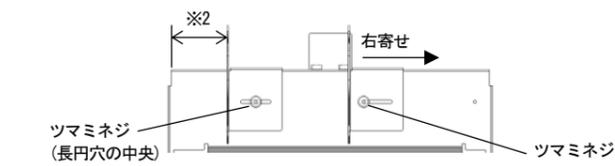


ツマミネジ2個で固定(強く締めすぎないこと)

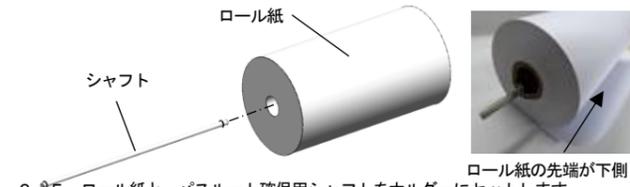
ホルダーはおおよそ下図の位置に取り付けてください。  
・用紙幅 8.3 または 8.5 インチの場合、左側および右側のホルダーは、右に寄せてネジに突き当てながら、ネジを締めて取り付けます。(ご参考) ※1 42mm ※2 57mm



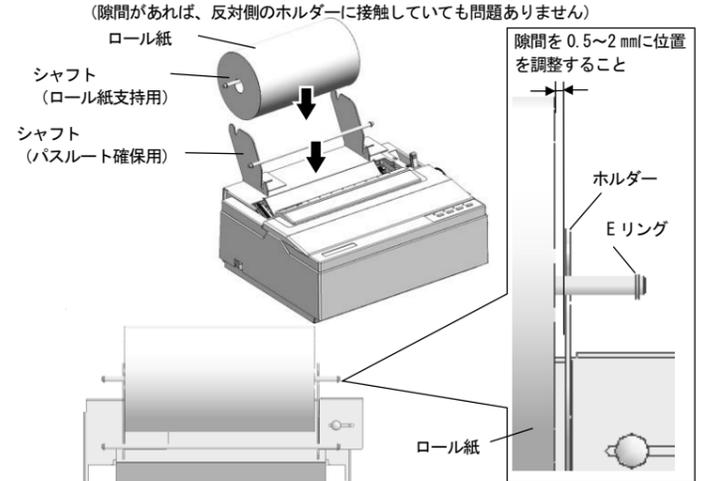
・用紙幅 4 インチの場合、左側のホルダーは、長円穴の中央でネジを締めて取り付けます。右側のホルダーは、右に寄せてネジに突き当てながら、ネジを締めて取り付けます。



2-4. ロール紙の用紙先端が下側に来るように、シャフトを通します。シャフトはロール紙の左右どちら側から通しても構いません。

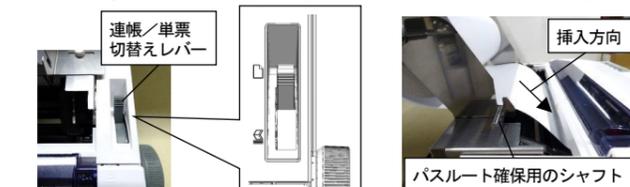


2-5. ロール紙と、パスルード確保用シャフトをホルダーにセットします。ロール紙がスムーズに回転することを確認してください。ロール紙はシャフトが用紙に対し左右均等になるようにセットしてください。左右均等でない場合、シャフトが傾き用紙が落下し怪我をする恐れがあります。シャフト左右のEリングがホルダーの外側になるようにセットしてください。内側の場合、シャフトが傾き用紙が落下し怪我をする恐れがあります。ロール紙を左側のホルダーに押し当て、隙間を0.5~2mmになるように右側のホルダー位置を調整してください。(隙間があれば、反対側のホルダーに接触していても問題ありません)

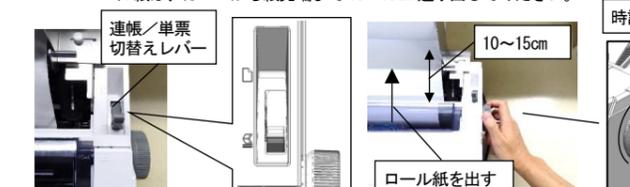


### 3. ロール紙の給紙手順

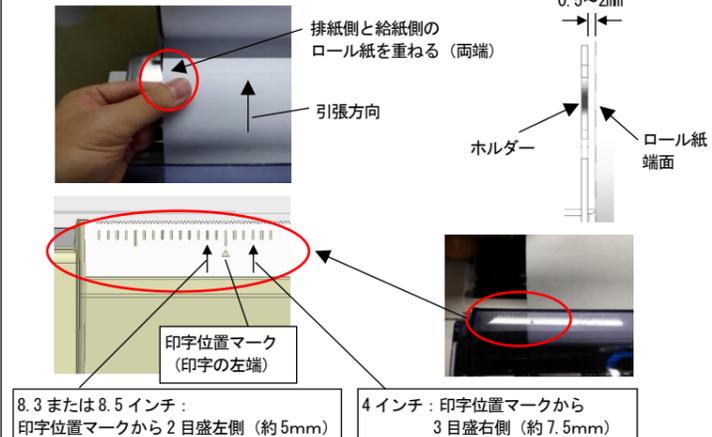
3-1. プリンターの電源を入れて、連帳/単票切替えレバー(プリンター正面右側)を単票側☑に倒します。その後、ロール紙を挿入してください。用紙を検知すると自動で吸入されます。もし自動で吸入されない場合は、プリンター取扱説明書『5 プリンター設定』用紙のセットアップ(5-4)より、Single Auto Loadの設定時間を変更し、再度ロール紙を挿入してください。



3-2. 連帳/単票切替えレバーを連帳側☒に倒します。警告音(ピーピー)が鳴りますが無視してください。次に、正面右側のプラテンノブを時計回りに回し、ロール紙を排紙側へ送り出します。ロール紙は、カバーから紙先端まで10~15cm送り出してください。

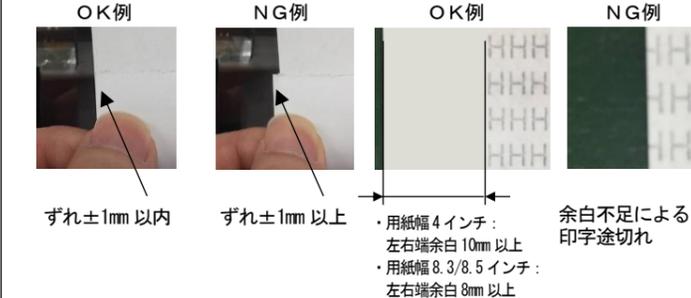


3-3. 排紙側に出したロール紙と、給紙側のロール紙の両端を重ねてつまんだ状態でプリンター後方(ロール紙側)に軽く引っ張り、たるみを取りながら両端を重ね合わせます。同時に、本体カバーに印字開始位置のマークがありますので、マークを目安として位置を調整します。ロール紙の左端位置は、用紙幅が8.3または8.5インチの場合、印字開始位置マークから2目盛左側(約5mm)、4インチの場合、印字開始位置マークから3目盛右側(約7.5mm)となります。用紙幅、印字開始位置の目安としてください。この時必要に応じてホルダーの位置も微調整し、ホルダーとロール紙端面の間隙を0.5~2mmに合わせてください。

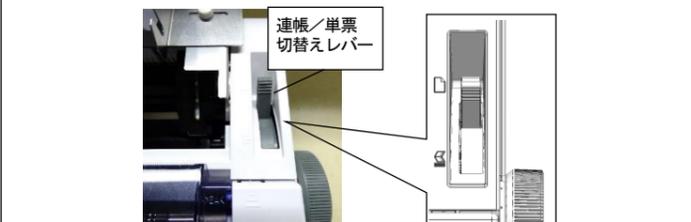


8.3 または 8.5 インチ: 4インチ: 印字位置マークから印字位置マークから2目盛左側(約5mm) 3目盛右側(約7.5mm)

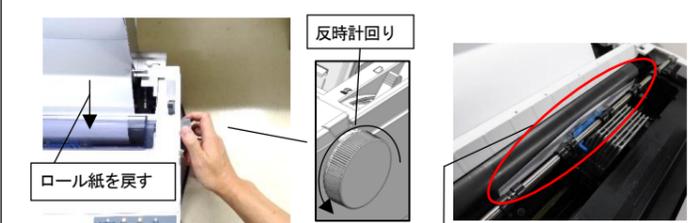
- 注意3) 用紙の左右ずれが±1mm以上の場合、累積斜行によってトラクタと用紙の端面が干渉し、用紙が折れてしまう恐れがあるため、用紙の両端を重ね合わせる際の左右のずれは、およそ±1mm以内となるように調整してください。
- 注意4) 余白が狭い場合、印字が途切れる恐れがあるため、用紙幅が4インチの場合、左右端の余白は10mm以上にしてください。用紙幅が8.3または8.5インチの場合、左右端の余白は8mm以上にしてください。印字データによっては余白が狭くなる可能性がありますが、余白が上記の規格に入るように、印字データを設定してください。
- 注意5) ホルダーとロール紙端面が干渉し、ロール紙に傷が付く恐れがあるためホルダーとロール紙端面の間隙は0.5~2mmの範囲に入るよう調整してください。



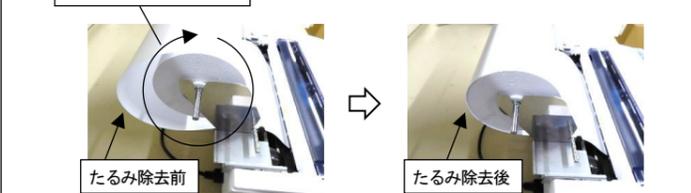
3-4. ロール紙の調整が完了したら、連帳/単票切替えレバーを単票側☑に倒します。



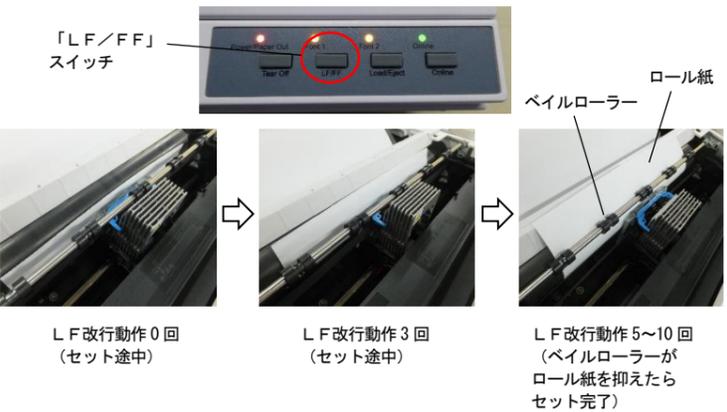
3-5. 正面右側のプラテンノブを反時計回りに回して、ロール紙を戻します。戻す位置は、印字ヘッドの上付近を目安としてください。また、ロール紙にたるみがある場合は、ロール紙を時計回りにゆっくりと回転させて、たるみを取り除いてください。



ロール紙を戻す目安の位置: 印字ヘッドの上付近(説明の為にカバーを外しています)



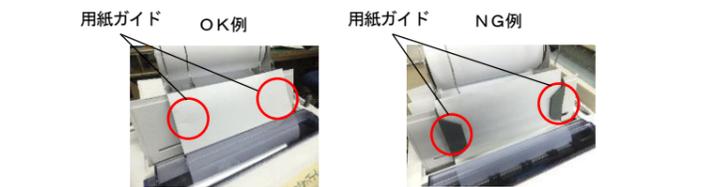
3-6. プリンター操作パネルの「LF/FF」スイッチを押下して、LF改訂動作を行います。「LF/FF」スイッチを繰り返し押下して、ペイルローラーがロール紙を抑えるまで用紙を送ってください。(押下回数目安: 5~10回) 本動作は3-5でロール紙を戻した際のギアのバックラッシュ対策です。



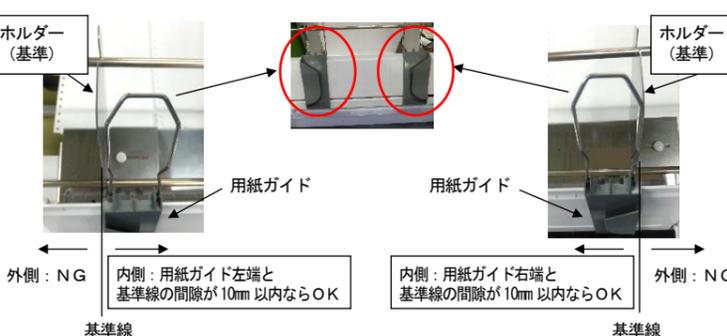
- 注意6) 「LF/FF」スイッチを長押しするとFF改ページ動作となり、約550mm搬送されるため、長押ししないでください。もしFF改ページ動作を行った場合は、プラテンノブを反時計回りに回して一度ロール紙を排出し、3-1. からやり直してください。
  - 注意7) LF改訂動作を行わないと、印字初期に改訂つまりが発生する恐れがあるため、LF改訂動作は必ず行ってください。
- 3-7. リアカバーを薄に合わせるようにしてください。取り付け方法の詳細は、プリンター取扱説明書『2 プリンター設定』リアカバーの取り付け(2-5)を参照してください。リアカバーは印刷用紙が再度プリンター内に入らないようにするためのセパレータとして使用します。排出用紙がプリンター内へ巻き込まれないようにご注意ください。巻き込まれそうな場合は、排出用紙の上に軽く持ち上げて、給紙側のロール紙を超えるまで、引き出してください。



- 注意8) リアカバーをセットしていない状態の場合、プリンター内に用紙が巻き込まれますので、リアカバーは必ずセットしてください。
- 注意9) リアカバーの用紙ガイド(コの字部分)の内側に用紙を通した場合、用紙が折れてしまう恐れがあるため、用紙は用紙ガイドの外側を通してください。



■注意10) 用紙ガイドの位置は、ホルダーとの同一線上の位置を基準として、外側に位置しないようご注意ください。また、内側には10mm以内に収まるように調整ください。



以上で、印字前の準備が完了です。

4. 印字中の注意事項
- 注意11) 印字中に左右の余白が小さくなった場合や、複写用紙を使用して表面の紙にたるみが発生した場合は、3-1 から3-7の手順に従ってロール紙を再設定してください。
  - 注意12) 印字が重なる場合がありますので、分割印字はしないでください。
  - 注意13) 4インチロール紙をご使用の際に、シャフトが左右に偏っているとシャフトが傾く可能性があるため、左右均等になるように再度セットしてください。
5. 用紙のJAM除去について  
用紙JAMが発生した場合、用紙を途中で切断し、ロール紙セットの逆手順でロール紙を取り外し、JAMした用紙を取り除いてください。